

九州歯内療法学会・学術講演会

(日本歯内療法学会協力団体)

学術講演 1

歯内療法における意思決定とその実際

まつうら歯科医院・歯内療法専門室 (福岡市博多区)
松浦 顯 先生

歯内療法処置には様々なステップがあるが、歯内療法専門医の中でも意見が分かれ、未だに明確な答えがないのが実情である。今回の講演では、このような議論の余地のある臨床上の争点 (Controversial issues) に関して、私自身が日常の臨床においてどのようにアプローチしているかを、ここ数年の学術論文を踏まえて解説し、歯内療法における意思決定 (Decision making) の問題について論じてみたい。

学術講演 2

接着性レジンを用いた築造処置を考察する ～歯内療法学の観点から～

牛島歯科医院 (北九州市門司区)
牛島 正雄 先生

近年、接着歯学の発達により歯内療法領域においても接着性レジンを用いた築造法がより一般的になっている。しかしながら、この領域での接着は象牙質が主な対象で、使用材料や接着操作に対して極めて過酷な環境であり、決して簡便な手法とは言えない。今回の講演では、接着性レジンを用いた築造処置を成功に導くために、築造処置の基本概念および接着性レジンを用いる場合の注意点に焦点を当ててお話ししたい。

平成30年7月22日 (日) 13:30～

会場：福岡県歯科医師会館 (福岡市中央区大名1-12-43)

*参加費：5,000円 (研修医：無料)
(申込不要・参加費は当日会場で申し受けます)

・日本歯内療法学会・九州歯内療法学会の会員でなくてもどなたでもご参加いただけます。多数の方々のご参加をお待ち申し上げます。

お問い合わせ先：九州歯内療法学会事務局 kyushuendo@gmail.com

